

地域おこし協力隊通信

新しい協力隊が加わりました

東京都高円寺から移住して 住んでいる集落は宮ノ浦で
きました。前職は音楽やお笑 す。ギターと着物が趣味で、
いのイベント運営、企画を行 和装が普段着です。見掛けた
うプランナーの仕事に従事し ら、声を掛けていただきた
ていました。協力隊の活動で ず。

益田さんの業務を引き継 ぎ、町内の空き家改修をサ
ポートしていきます。よろし くお願いします！



だいたう かつゆき
大東 勝行
昭和53年生まれ / 兵庫県尼崎市出身

「任期の半分が過ぎました」
子どもたちがもつと長島の魅力
に触れ、好きになる機会として
「もつと長島プロジェクト」を開催
したり、子育てひろば「すまじる」
獅子島会場の手伝いをしたりして
います。非常勤講師としても町内
の小学校に関わっています。今後
もこれらを継続し、「教育」に関す
ることで活動の幅を広げたいです。



山田 周
令和元年8月
協力隊に着任



江副 佑輔
令和2年1月
協力隊に着任

町役場が発行する広報紙『広報
ながしま』の制作に関わり、1年
が経ちました。デザインを中心と
した活動では主体となる広報紙
の制作に限らず、町内の事業者の
かたがたやイベントなどで、幅広
く関わらせていただきました。
「やりたいこと、役立ちたいこと」
を信念に、新年度でも活動を広げ
ていきたいと思えます。

また、3年の協力隊での任期の
うち、残り1年と9か月を切り、
任期後も持続・自走できる仕組み
の提案や自身の定住に結び付く
仕事の創出もいまだ途上です。
一生懸命、頑張っています。

『広報ながしま』の 一年を振り返る

令和2年4月号(No.169)より町
が発行する広報紙『広報ながしま』の
デザインがリニューアルされました。
書体の一新などデザインのほか、特
集記事や新しいコーナーが始まるな
ど、町内の魅力をさらに伝える紙面
になりました。

7月号では、MBC南日本放送のテ
レビ番組「ながしま4」の広報紙を紹
介するコーナーで『広報ながしま』の特
集記事が大きく取り上げられました。
日本広報協会が発行する月刊『広
報』では、7月に起きた町内での水害
と復興を伝える8月号の特集記事が
評価を受け、誌面で紹介されました。



デザインを担当する
協力隊の江副佑輔さん
は「町民をつなぐ広報紙
をさらに盛り上げてい
きたい」と話しました。

長島町で活動する協力隊の これまでとこれから

協力隊に着任して8カ月経ち、
市来崎集落に住み始めました。静
かで景色も素晴らしく、集落のか
たも明るく草刈りなどの行事にも
快く受け入れていただき、感謝で
いっぱいです。今年1月には、わな
免許と第一種銃(空気銃)免許を
取得し、現在所持手続き中です。
イノシシ捕獲だけでなく、鳥撃ち
にも挑戦したいです。

昨年11月から長島町の公式イン
スタグラムの運用を担当してい
ます。町民のかたがたから「インス
タグラムみたよー」と声を掛けて
いただけることが活動の励みで
す。今年度も引き続き、SNSを
使って長島町の魅力を発信して
いきますので、取材や撮影、口コ
ミなど、ご協力いただけたら
幸いです。どうぞ
ぞよりしくお願
いいたします！



※2021年4月4日現在



NAGASHIMACHO
こちらから見れます



長谷川 一総
令和2年8月
協力隊に着任



新見 春奈
令和2年8月
協力隊に着任

3月27日から28日にかけて、古民家
再生協会と町地域おこし協力隊が主
催する土間造りワークショップが宮
ノ浦地区の古民家で開催されました。
参加者16人はプロの大工職人の下、
土間や階段、家具のリノベーションを
一泊二日で体験。参加者らは長島町の
ことや古材の知識、移住についても学
びました。
今回、同イベントを企画した元移住
定住コーディネーターの益田さんは
「長島の赤土を皆で叩いて、作った土
間をぜひ見に来てください」と成功
を喜びました。

